


第1期農業研修生 研修報告書（研修生その1）

研 修 報 告 書

<p>研修生に応募した動機</p>	<p>私のような若者が農家を始めることによって、少しでも力になれるのではないかと考えました。</p> <p>また、りんごの収量低下が問題になっている為、高密度植栽培で少しでも収量を増やして、青森県のりんご産業を盛り上げたいと思いました。</p> <p>会社が独立を支援してくれるということも、安心感を持って入れるということも魅力に感じました。</p>	
-------------------	---	---

<p>主な活動について【研修期間：令和6年4月1日～令和8年3月31日】</p>	
<p>(1)りんご高密度植栽培の実習</p>	
<p>下垂誘引</p> 	<p>作業内容</p> <p>春：苗木定植作業、かん水設備施工、人工授粉、摘花</p> <p>夏：摘果、下垂誘引</p> <p>秋：葉取り、つる回し、収穫作業、下垂誘引</p> <p>冬：冬支度、除雪</p> <p>年間：薬剤散布、剪定、剪定枝等焼却、肥料散布、草刈</p>
<p>収穫</p> 	<p>【研修成果】</p> <p>1年目は手作業が多く大変でした。堆肥の手撒きや畝の草取りなどを手で行いました。また、人工授粉も梵天で一つずつ行いました。</p> <p>2年目からは、農業機械や人工授粉機など機械での作業が多くなり、スマート農業化が必要だと感じました。</p> <p>2年間を通して重要だと感じた作業は下垂誘引です。下垂誘引を行うことで冬の積雪による枝折れを防ぐことが出来ると作業をして感じました。しかし、下垂誘引作業は時間を要する作業であり、若い樹は雪に負けてしまうものもあったため、独立後は何か工夫をして作業効率を上げ、被害を無くしたいと考えています。</p>
<p>(2)ハウス・その他栽培の実習</p>	
<p>シャインマスカット選果</p> 	<p>作業内容</p> <p>『ぶどう』</p> <p>春：ビニール被覆、誘引、摘芯、花穂整形、ジベ処理</p> <p>夏：誘引、摘心、摘粒、袋掛け、傘掛け</p> <p>秋：糖度チェック、収穫作業、培土作成・追加</p> <p>冬：ハウス片付け、ネズミ対策、雪害対策、剪定</p> <p>年間：肥料散布、薬剤散布、かん水</p>

	<p>『イチジク』</p> <p>春：育苗、植え替え、雨避けビニール被覆、誘引 夏：誘引、脇芽取り、芯止め剪定 秋：収穫作業(選果、出荷)、冬支度、片付け 冬：剪定 年間：肥料散布、薬剤散布、かん水</p> <p>【研修成果】</p> <p>印象に残ったことは、イチジクの栽培方法についてです。イチジクの栽培風景を見たことがなかったため、雨避け栽培であれだけコンパクトに栽培しても収穫できることに驚きました。</p> <p>また、夏場のハウス内でのぶどうの作業は室温が高く大変でした。送風機等で暑さ対策を行えば、作業の効率化につながると感じました。</p>
--	---

(3)その他行事等・地域交流等

<p>小沢ねぶた参加</p>  <p>農研機構視察(岩手)</p> 	<p>講習会等…ひろさきスタートアップの塾(ファースト、プラス)、普通救命講習、農研機構視察、農業技術検定、フォークリフト運転技能講習、</p> <p>会社行事…就農イベントでの出展、歓送迎会や新年会の参加 新規就農 PR 動画撮影協力、</p> <p>地域交流…小沢地区ねぶたへの参加、地域の方との交流会 高密植研究会との交流会・園地研修</p> <p>【研修成果】</p> <p>アップの塾では、りんごの作業について勉強することができ、フォークリフトの技能講習等も受講出来ました。様々な研究機関の視察などにも参加することが出来ました。特に、岩手県の農研機構に視察に行った際に、様々な栽培方法の研究などが行われており、とても興味深く良い経験になりました。また、モデル園のある小沢地区のねぶたに参加させていただき、普段は経験できないような体験が出来ました。</p>
---	---


研修総括と今後の展望

2年間の研修を通して、1年目は覚えることが多く大変でしたが、2年目の作業に活かすことができました。収穫時期には、自分たちで栽培してきたりんごを収穫でき、喜びと達成感を得ることができました。また、様々な活動の中でいろんな人と関わり、農業はコミュニケーションを取っていくことが必要と感じました。

今後の展望として、まずは継承する園地の成園化を第一の目標として楽しく農業をしていきたいと思っています。将来的には、法人化も視野に入れ、農業の良さを広め、青森県のりんご産業がもっと盛り上がるような活動をしていきたいと思っています。

第1期農業研修生 研修報告書（研修生その2）

研 修 報 告 書

<p>研修生に応募した動機</p>	<p>農家の高齢化や後継者不足が問題になっている為、青森県の誇りであるりんご産業を若者が盛り上げていきたいと思いました。</p> <p>地域の方々との交流もあることを知り、農作業では学べないことも学べると思い応募しました。また、独立後に園地を継承でき、すぐに収入を得られるという点も魅力的に感じました。</p>	
-------------------	---	---

<p>主な活動について【研修期間：令和6年4月1日～令和8年3月31日】</p>	
<p>(1)りんご高密度植栽培の実習</p>	
<p>苗木定植</p>  <p>収穫</p> 	<p>作業内容</p> <p>春：苗木定植作業、かん水設備施工、人工授粉、摘花 夏：摘果、下垂誘引 秋：葉取り、つる回し、収穫作業、下垂誘引 冬：冬支度、除雪 年間：薬剤散布、剪定、剪定枝等焼却、肥料散布、草刈</p> <p>【研修成果】</p> <p>りんご高密度植栽培を通して大変だったことは、自然災害には抗えないということです。令和7年度は降雨が少なく、着果が悪かったり、玉伸びが悪かったりしました。</p> <p>また、‘ふじ’の収穫時期に、強風予報が出たため早もぎをしなければいけなくなりました。昨年度も今年度も雪が多く、多少の枝折れもありました。様々な対策をしても完全には防ぐことが出来なかったため、うまく付き合っていくしかないと感じました。大変ではありましたが、自分たちで何かを作るという達成感を強く感じる事ができました。</p>
<p>(2)ハウス・その他栽培の実習</p>	
<p>ハウス内様子</p> 	<p>作業内容</p> <p>『ぶどう』</p> <p>春：ハウスビニール被覆、誘引、摘芯、花穂整形、ジベ処理 夏：誘引、摘心、摘粒、袋掛け、傘掛け 秋：糖度チェック、収穫作業、培土作成・追加 冬：ハウス片付け、ネズミ対策、雪害対策、剪定 年間：肥料散布、薬剤散布、葉とり、かん水</p>

ハウス内ぶどう植付前



『イチジク』

春：育苗、植え替え、雨避けビニール被覆、誘引

夏：誘引、脇芽取り、芯止め剪定

秋：収穫作業(選果、出荷)、冬支度、片付け

冬：剪定

年間：肥料散布、薬剤散布、かん水

【研修成果】

ハウス栽培等では、春から秋にかけて継続して行う作業が多く、気温が高い時期は特に大変でした。ぶどうは細かい作業が多く、繊細な技術が問われるため、教わりながら作業を行っていました。他の研修生よりも多くハウス栽培に携わったため、独立後にやってみたいと興味を持ちました。

(3)その他行事等・地域交流等

小沢ねぶた参加



ひろさきアップル塾研修参加



講習会等…ひろさきスタートアップの塾(ファースト、プラス)、普通救命講習、農研機構視察、農業技術検定、フォークリフト運転技能講習、
会社行事…就農イベントでの出展、歓送迎会や新年会の参加
新規就農 PR 動画撮影協力、
地域交流…小沢地区ねぶたへの参加、地域の方との交流会
高密植研究会との交流会・園地研修

【研修成果】

研修生としてだけではなく弘果総研の社員として、普段は見ることのない農業に関するイベントに参加することができ、知見が広がりました。

新規就農 PR 動画撮影では、今まで動画撮影をしたことがなかったため、どのような雰囲気でも撮影するのか心配でしたが、協力して下さった出演者や撮影部隊の方とも仲良く撮影することができました。どの行事も、色々な人との関わりでできたことから、人との関わりは大切だと改めて実感しました。

研修総括と今後の展望

2年間の研修を通して、1年目はひたすら覚えることが多く、難しい作業もありましたが、2年目からは覚えた作業に応用を利かせて作業ができました。新たな研修生も加わり、先輩として教えながら作業をすることもできました。作業や視察で、色々な方の繋がりによって経験できたものが多かったため、人との繋がりが大切だと感じました。

今後の展望として、最初の目標は成園化を目指し、無理のない生活ができるくらいの収益を目指していきたいと思います。研修生第1期生としての自覚を持ち、園地継承型で研修ができるこの制度を広めて、担い手不足解消や放任園を減らすことに少しでも力を貸したいと思いました。